

第1回

2024年
10月26日(土)
14:00-16:30
須賀小学校体育館

新しい施設は「小学校」と「地域の人たちが集まる施設」がいっしょになります。でも、「いっしょ」といってもどれぐらいの「キヨリ」なんだろう…？曖昧な部分を明確にしながら話し合いを進めていきます。

参加者数
44名



ワーク 児童・学校と自分のキヨリ感を考えよう

心理的キヨリのいろいろ

- ◎あだ名が言える（声を掛けやすい）
- ◎名札があり、話しかけてもOKだとわかる
- ◎感謝の気持ちをお互いにプレゼントし合える
- ◎自分がつくった作品を展示して評価し合える
- ◎世代関係なく悩みを打ち明けて互いに解決できる
- ◎一緒に活動する中で、子どもたちから信頼してもらえる
- ◎大人の情報がわかり、子どもたちが自分で判断できる
- ◎子どもと大人、平等な関係も築ける
- ◎安心できる環境で子どもたちに教えてくれる人がある

物理的キヨリのいろいろ

- ◎良好な心理的関係性があれば、近くても苦ではない
- ◎休み時間などに、お互いに何をしているか見える
- ◎「向き」にも配慮がある（真正面は意識してしまう）
- ◎得意なことは見られても平気（アピールもしたい）
- ◎堅い話のときは、少しキヨリが置けるように
- ◎最初は遠くから見ていて、徐々に距離を近づけていける
→キヨリを詰めるのも段階がある（時間が必要）
- ◎夏休みになると、子ども大人も行くことができる
- ◎どんな活動をしているかが分かる

キヨリ感についての具体アイデア

◎名札をつける

◎あだ名で呼び合う

- ◎いろいろな場所でご飯が食べられる
- ◎ペットOKな場所がある（散歩など）
- ◎一緒に落ち葉掃きなど掃除をする
- ◎地区のイベントに子どもが参加する
- ◎お互いに手伝ってもらう
（栗の皮むき⇄宿題を教える）

ソフト の具体案

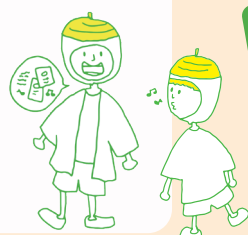
ハード の具体案

◎活動の見える化 →掲示物を工夫する

- ◎子どもの気が散らない工夫も必要
- ◎キヨリを変えられる工夫がある（可変性）
- ◎季節を感じるものがある（日本らしさ）
- ◎座りやすいベンチがある
- ◎子どもが何かやっている風景を見たい

キヨリを考える上で、当たり前のことだが大切な視点

- ◎それぞれが感じるキヨリの感覚には違いがある（世代、特性、お互いの関係性、身体の向き など）
- ◎キヨリの調整を自分たちでできることが大切（閉じたり開けたりできる / 固定化しない）
- ◎活動によって適切なキヨリ感が異なる（座学、遊び、運動 / 活動によっては高さの違いが必要な場合がある）
- ◎地域の気持ち ⇄ 児童・先生の気持ち 両方の立場で考えることが大切
- ◎日常でも非日常でも関わりしろがあると、良いキヨリ感がより生まれやすい
例）ラジオ体操と一緒に / 授業へ参加できる / 一緒に運動会をする など
- ◎「参加の仕方」によって、キヨリについてのあり方も様々
見物する：公民館活動が気軽に見える、学校帰りに挨拶してくれる
参加する：地域の活動に子どもが気軽に入れる、夏休みの宿題と一緒にできる
教える：絵を教えられる、子どもの自由研究を手伝える



新しい須賀小&地域が
まじわる・ひろがる
ワークショップ2024
どんぐり&ピアノ

活動レポート

第2回

2024年
11月24日(日)
14:00-16:30
須賀小学校体育館

前回出た「キヨリ」に対する意見をもとに、どんな取り組みがあるとお互いの行き来が生まれやすいのか、心のキヨリを縮めたりつなぐにはどうすれば、などキヨリに関するテーマを改めて4つ設定し、話し合いました。

参加者数
35名



ワーク 前回のワークで話し合った「キヨリ」の「その先」を話し合おう！

テーマ
1

子どもたちが地域のエリアに来るための環境を考えよう！

こんな場所があると良さそう

- 放課後に児童が宿題したり、本を読んだりできるスペースがある
- 学童の子たちも利用できる
- 子どもたちの居場所、リラックスできる場所がある
- 授業でも利用できる

- 図書室の分室のような場所がある
- 図工などで使える廃材がたくさんストックされている場所がある
- 季節の行事の飾りつけなどを地域の人と一緒にやれる場所と活動がある
- 低学年が遊べる遊具がある

- 農作物を育てられる場所がある
- たっぷり大きなベンチがある
- 地域の人が自分の本を貸し出せる本棚がある
- 親と兄弟が遊んでいる

4つの
テーマで
話し合い

結果を
整理

テーマ
2

地域の人たちにこの地域施設に気軽に来てもらうための環境を考えよう！

こんなシーンがあるといいかな

- 子どもが先生になって教える日がある
- 「海外」を体験できる宿泊施設にして親子で泊まる…？！
- 芝生広場やあずまやがあってそこで何か飲める
- 普段料理をしない人が料理をふるまうと食べに行きたくなりそう！
- 季節を感じる植物があれば行きたくなる
- 散歩コースにする（+健康遊具）

- ◎この施設で実施している活動をHPや紙面で発信するのは大事！
- ◎ポイント制や学割がある
- ◎多世代向けの「どんピマネー」がある！？
- ◎特別教室が外から見えると興味が出そう
- ◎借りるのに簡単な仕組みだといい
- ◎不登校の子でも来やすい環境がある
- ◎知っている人が運営メンバーにいる

テーマ
3

心のキヨリの近づけ方を考えよう！ / お互いによりよい関係を築くための取組みを考えよう！

話しかけたいが、不審者と
思われてしまうとさみしい…

→ どういうことを一緒にやれば
キヨリを縮められるだろう…？

→ そのためにできそうな
取組みを考えてみよう！

- ◎やっぱり名札や名刺をつくりたい！
- ◎何かを一緒につくったりするのは…？
- ◎自分が先生になって人に教えるのもいいかも…？！

→ 共有スペースから活動が見えるとよさそう…！
中庭のような場所もあるといいなあ

テーマ
4

学校と地域のキヨリを「縮める / つなぐ」人について考えよう！

人と人をつなげる

→いろいろな人たちの活動をマッチングできる、気軽に相談できる

子どもと一緒に楽しんで何かをやっていく

- ◎1人ではなかなか実現できないのでグループでやれたらよさそう…！
- ◎パバネットの皆さんとも連携したい！
- ◎すでに地域で活動している、知られている方に最初は頼るのもいいのではないかな

役割

こんな人
だといいな

人柄

- 話しかけやすくフレンドリー
- 否定しない
- 笑顔の時間が多い
- 秘密・約束・法律を守れる
- やさしいが厳しさもある
- いい意味でおせっかい
- きっかけをくれる
- 子どもの気持ちも大人の気持ちもわかる

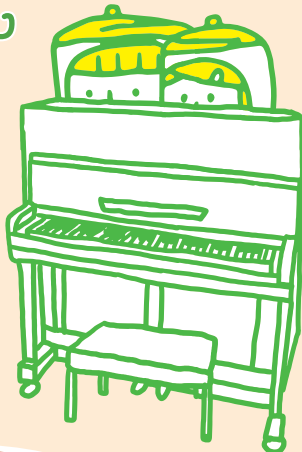


第3回

2024年
12月14日(土)
14:00-16:30
須賀小学校体育館

最終回は、これまでの意見をもとに建築家が考えた設計図を囲んで意見交換をしました。図面や模型を見ながら「そこでしたいこと」を話し合い、未来の姿をイメージしました。また、改めて新しい施設の魅力を自分たちのことばで話せるようなワークにも取り組みました。

どんぐりと
ピアノ



建築家さんの案、聞かせて、聞かせて。
→設計案から活動をイメージしよう！

参加者数
38名



各グループで出た意見

Group A

- ◎できるだけ下足で中を歩くことはできないか(体育館は体育館履き)
- ◎遠くの風景が見える場所があるといい
→地域を見渡せると嬉しい
- ◎犬をつなげられる場所があると嬉しい
- ◎モルックができる場所がほしい
- ◎キッチンカーが入れるスペースがあるといい
→外部電源も含めて



Group D

- ◎どんぐりピアノをどこに置いたらいいか
→誰もの目に入る場所(メモリアルコーナーなど)にあるのがいい
- ◎図書室を大人が図書館として利用できる
→子どもが休み時間に寝転んで本が読める
→勉強と休憩のリラックスゾーン
- ◎理科室のそばに畑を作る
→畑でできた野菜をそのまま家庭科室で調理
- ◎お互いの活動が見えるオープンな作りにしたい
→セキュリティにはしっかり配慮すること
- ◎車椅子の方など誰もが使えるように床素材やスロープなどを検討したい

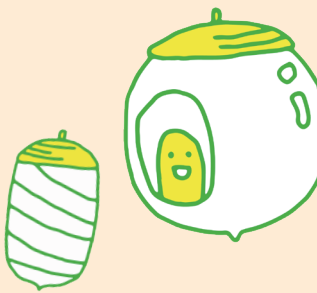
Group B

- ◎気軽に立ち寄れる空間であってほしい
→お喋り会やお茶飲み会など
- ◎校庭を使ったスポーツ大会でドッチボールやモルックや大人の運動会などができないか
→校庭でマルシェなどもできるといい(子どもも参加)
- ◎中庭あたりで食事会などの交流ができるといい
→BBQ、ピクニック、餅つきなど
→家庭科室も近くにあり水場が使いやすい
- ◎木登りなどの遊びができる空間であってほしい
- ◎卒業生や中高生の居場所にもなれる
→中高生を置き去りにしないようにしたい



Group E

- ◎和室で書道の授業をしたい
- ◎ウッドデッキのテラスでランチを食べたい
→給食をそこで食べたり、干し柿、干し大根などをぶら下げられる
- ◎広い校庭を使ってお花見ができる
- ◎この建物全体が1つのまちのように見えるのがとてもいい
→ハレの日もケの日も受け入れてくれる場所があるのがいい

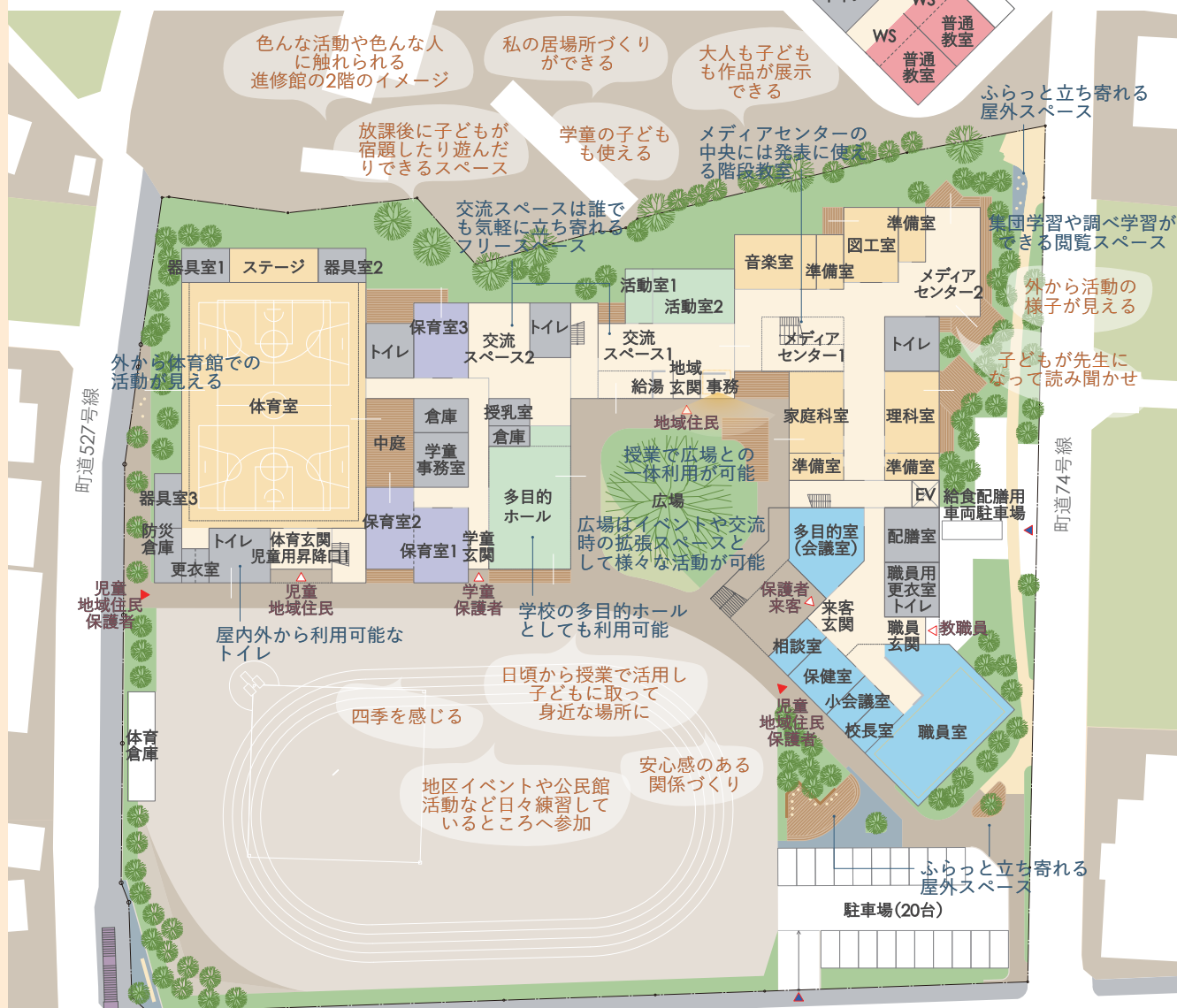
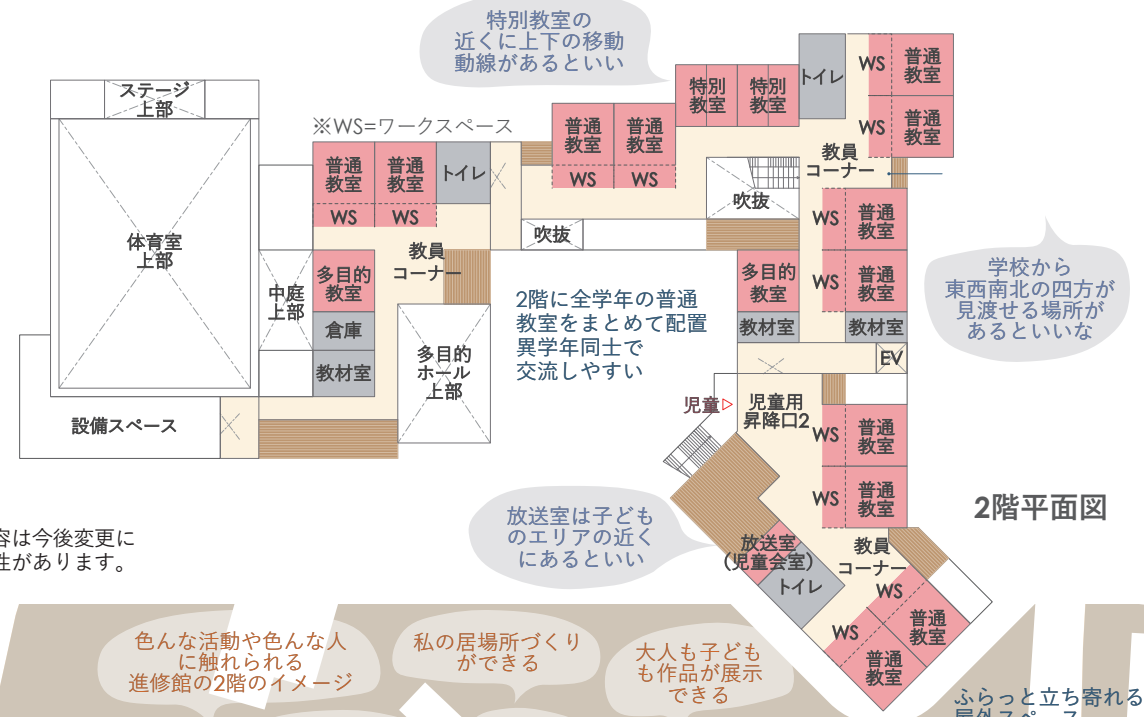


Group C

- ◎メディアスペースや階段のあたりでミニコンサートや地域の方たちの三味線などが見れる
→下校時間に演奏が聴けるのもいい
- ◎テラスで給食を食べたり、焼き芋を焼いたりコーヒーを飲んだりしたい
- ◎日当たりのいいところで昼寝をしたい
- ◎地域の方とゴーヤカーテンを作りたい
→子どもたちと家庭科室で調理
- ◎理科室のそばで大人のサイエンスをしたい
- ◎カエデの木の周りにベンチがあると嬉しい
- ◎子どもたちからタブレットやパソコンの使い方などを教えてもらいたい
- ◎落ち葉を利用してみんなで焼き芋を食べたい
- ◎花を植えたり、畑で作物を育てたり、授業のお手伝いをしたり掃除をしたり、地域の人が何か1つでも関わると嬉しい

基本設計(案)

※図面の内容は今後変更になる可能性があります。



- 凡例
- 小学校ゾーン
 - 普通教室ゾーン
 - 管理諸室ゾーン
 - 特別教室ゾーン(共有室)
 - 地域コミュニティ施設ゾーン
 - 学童保育所ゾーン
 - 共用部
 - セキュリティライン(外部)
 - セキュリティライン(内部)
 - ▲施設出入口
 - ▲利用者動線
 - ▲車両動線